

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	キッズアドベンチャーアクア		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		R7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各部屋が、適度な広さである。	その日の活動内容に応じて、児童が運動や学習がしやすい環境を考えて設定している。	事業所が楽しい、安心して活動出来る環境設定を今後も考えていく。
2	保護者との連携がなされている。	定期的に行っている面談にて、丁寧に説明していること、毎回の支援の内容をアプリを使ってみる事ができること、ご家族が困っていることを傾聴し、助言を行っている。	今後も継続して取り組んでいき、支援に繋げていく。
3	専門的な支援を提供している。	児童に応じて特性を理解・共有し、それぞれに必要な支援を行っている。	ケース会議や、事業所内の勉強会など、知識や技術の向上を図ることで、より専門的な支援を行えるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域と交流や保護者同士の交流がない。	夏祭りやクリスマスなど、ご家族と事業所間で交流する計画は立てるが、保護者会などの保護者同士間での計画は立てていない。	計画案を挙げ、実行する。
2	設備は、完全なバリアフリーではない。	段差や階段、廊下があるため、転倒や児童との衝突が予想される。大きな改修工事はできないため、児童がリスクを意識しやすい環境設定と、支援者の声掛けが必要。	改善できる家屋の改修や、支援員が児童に対して声掛けを継続して続けていく。
3			